

令和7年度大阪市市民活動推進助成事業 報告会

ぱふすぺ

障害がある子供もない子供も一緒に遊べる、またそういった子供をもつ親もそうでない子供を持つ親も楽しめる“居場所”作り

NPO法人サードプレイス

代表 中西美穂



居場所支援 **ぱふすぺ**

本当の意味の“インクルーシブ”を推進するため、
障害がある子もない子も、そして、その保護者達
も巻き込んだ、ソーシャルな居場所支援



NPO法人サードプレイスとは

理念

脳性まひ児（障害児）やその家族が健やかに過ごせる共生社会を目指します

代表プロフィール

ノンフィクションライター。保育士。元週刊誌記者。不妊治療によって双子を出産。次男に障害があることがわかる。自身の経験を活かし、生殖補助医療、妊娠・出産・育児、障害・福祉を中心に取材活動を行う。障害児を持つ親を支援するNPO法人サードプレイスを運営。

代表的な記事



(デイリー新潮/新潮社)



(現代ビジネス/講談社)

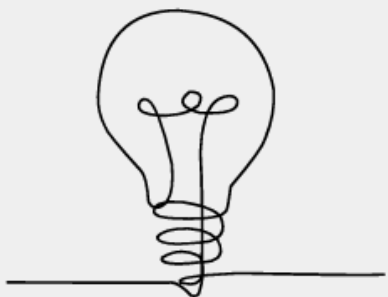


活動目的

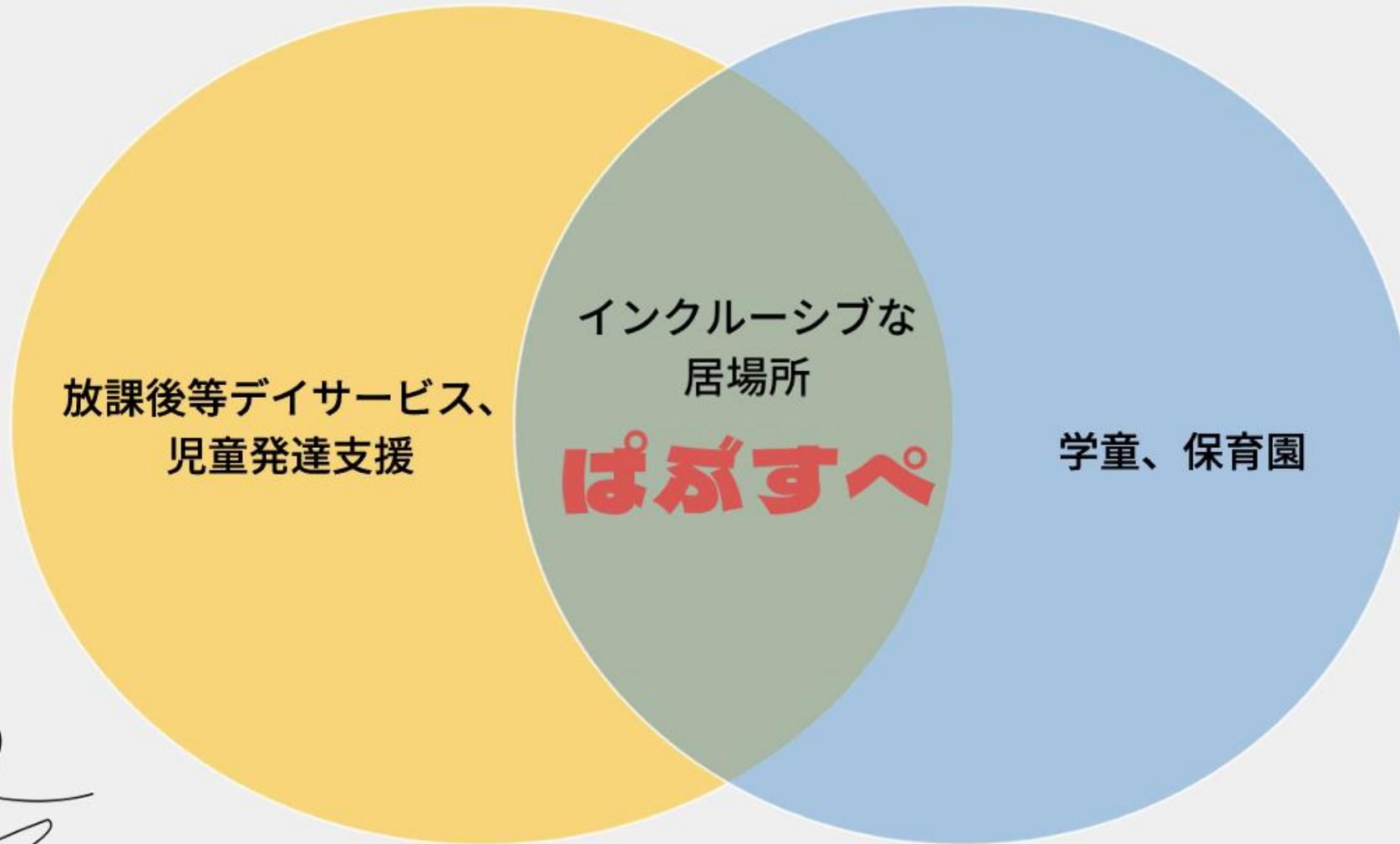
- ・配慮が必要な子どもとそうでない子どもが同じ空間にいて、お互いが理解し、一緒に遊ぶことで障害などの理解が進む
- ・親（特に母親）の居場所を兼ねることで、親の理解も進み、学校や放課後の子供のコミュニティだけではなく、家庭内でのインクルーシブ教育もを推進
- ・親の居場所は、育児に関する情報交換を行い、育児軽減のための支援にもつながる。

親と子ども同時にキャッチアップできる場所に

インクルーシブ教育の推進



活動目的



活動内容

活動場所

第二、第四水曜 14時半～17時半

活動場所

大阪市中心区 中大江校下センター

一日の流れ

14時半～15時 子ども達来る。

14時半～15時半 勉強時間

15時半～17時イベント

17時～17時半 自由遊び

17時半～18時 片付け



活動内容



宿題補助

ボランティアの方々と一緒に宿題をやります。



イベント

毎回イベントを開催しています。



自由時間

自由遊びは各々で。宿題するもよし、ブロックで遊ぶもよし、寝転ぶもよし



現状

- 毎週月曜、デイサービス「Nest」で「ぱぶすぺ」を開所
- 平均利用者数 5 名ほど（固定）



- 集客が厳しいので、10月よりセンターに戻す
- 月2回 開催
- 「Nest」との交流

中間報告

【よかった点】

- ・ 固定で利用してくれるお子さんは数名確保できた
- ・ そのお子さんたちにとっては居場所、また、毎週楽しみになる場所になっている。
- ・ 地域のイベントに出展、参加（北大江地域の祭り、また、天満橋駅で開催のイベントなど）

【課題と感じている点】

- ・ 場所がわかりづらくなったため、人が流れてこない。
- ・ インクルーシブが推進できているか疑問
- ・ 他の機関との連携の難しさ（先方も多忙ため、交流ができない）

中間報告

- ・ デイサービス「N e s t」の開所
- ・ 2025年5月より、当会が運営する児童発達支援・放課後等デイサービス「N e s t」にて、週4回開催。
- ・ チラシを制作し、また、SNSで開催を報告。また、昨年度から運営している公式LINEにて、告知を行う。
- ・ 地域に根ざす
- ・ インクルーシブ科学イベントの開催



最終報告

当会が運営する児童発達支援・放課後等デイサービス『Nest』や中大江校下センターにて、不定期で居場所支援を開催いたしました。毎回約10名の参加者がありました。また、隔月の第四土曜は、『Nest』にて、インクルーシブな科学体験イベントを開催いたしました。

8月23日「水、きれいになるかな？」（濾過実験）

9月27日「塩の不思議 そろとアートを作ろう」

11月22日「秋、みつけた」

12月20日「電気の不思議 光るクリスマス工作」

1月24日「光の不思議 虹色万華鏡を作ろう」

2月28日「インクルーシブなネイチャークラフト」

3月21日 にインクルーシブデイキャンプ開催。参加者約50名
6月には北大江公園まつりに参加（今年度も参加いたします）。



今後の展望

今後は不定期的なイベントを中心におこなっていく予定。

インクルーシブな科学イベントを月一回開催

夏と春のキャンプを開催予定